



日本のお茶は「緑茶」

日本で作られるお茶は、ほとんどが緑茶の仲間です。そのうちの約3分の2は「せん茶」という種類です。「せん茶」以外にも、育て方や作り方のちがいなどによって、いろいろな種類の緑茶が作られています。また、その年で一番最初につみ取られたお茶を新茶と呼んでいます。

せん茶

日本が一番飲まれている「せん茶」



緑茶の種類の例

すべて同じ緑茶
みめ
だけど、見た目は
こんなにちがうん
だよ。



玉ろ



日光を当てないように育てたお茶のき木からつみ取られた「玉ろ」

ほうじ茶



せん茶を火にかけてこばしくした「ほうじ茶」

まっ茶



てん茶という種類のちやはこまごなお茶の葉を細かい粉にして作る「まっ茶」

げん米茶



せん茶にこぼしいまいまいを混ぜた「げん米茶」

お茶じゃないお茶って!?

お茶の木以外の植物や穀物などから作られるお茶もあります。

例えば、麦茶や黒豆茶、そば茶、いろいろなハーブから作られるハーブティーなどの飲み物も、お茶と呼ばれています。



麦茶



黒豆茶



そば茶



ハーブティー